

平成25年度の日本の世界遺産推薦候補の決定について

□平成25年3月 「世界遺産暫定一覧表記載資産 準備状況報告書」を文化庁へ提出
百舌鳥・古市古墳群は、27年度の登録を目標としている旨記載

□平成25年4月19日 「文化審議会 世界文化遺産特別委員会」にて各資産の進捗状況を審議

【文化庁から提示された百舌鳥・古市古墳群の課題】

- ◆OUV(顕著な普遍的価値)及び適用基準の説明等、価値付けの説明ぶりの更なる検討
- ◆資産選択の論理及び完全性の説明の更なる検討 ◆資産全体としての管理体制の検討
- ◆周濠周堤部分の法的担保措置の検討 ◆緩衝地帯の保全のあり方の検討の深度化

□平成25年6月4日 「百舌鳥・古市古墳群の推薦書原案」を文化庁長官へ提出

□平成25年7月4日 「世界文化遺産特別委員会」に設置されているワーキング・グループで審査・検討
百舌鳥・古市古墳群の推薦に向けての課題について議論された

□平成25年8月23日 「文化審議会 世界文化遺産特別委員会」
「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の推薦決定
⇒**百舌鳥・古市古墳群は、引き続き検討を深める必要があるとされた**

□平成25年8月27日 「稼働資産を含む産業遺産に関する有識者会議」
「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の推薦決定

□平成25年9月20日 関係省庁連絡会議にて、明治日本の産業革命遺産の推薦を決定

□平成25年9月末 ユネスコ世界遺産センターへ推薦書(暫定版)を提出

ユネスコ世界遺産暫定一覧表記載の日本の資産 ～登録目標年～

暫定一覧表リスト（12件）	登録 目標年*	暫定一覧表 記載年
富岡製糸場と絹産業遺産群	H26年	H19年
明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域	H27年	H21年
長崎の教会群とキリスト教関連遺産	H27年	H19年
北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群	H27年	H21年
百舌鳥・古市古墳群	H27年	H22年
国立西洋美術館（本館）**	H28年	H19年
宗像・沖ノ島と関連遺産群	H28年	H21年
飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群	H29年	H19年
金を中心とする佐渡鉱山の遺産群	H29年	H22年
彦根城	(H28年以降)	H4年
武家の古都・鎌倉	—***	H4年
平泉—仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群 [拡張]	—	H24年

H25年9月20日
政府は「九州・山口」の推薦を決定。

H25年8月
文化審議会は「長崎」を、内閣官房有識者会議は「九州・山口」の推薦を決定。

* 登録目標年については、「文化審議会世界文化遺産・無形文化遺産部会 世界文化遺産特別委員会(第1回)」(H25. 4. 19開催)の資料「世界遺産暫定一覧表記載資産準備状況報告書」による。

** 日本を含む6カ国で共同推薦する「ル・コルビュジエの建築作品 - 近代建築運動への顕著な貢献」の構成資産の1つ。H23年の世界遺産委員会で「記載延期」が決議されている。フランスの推薦枠を活用

*** 当初H25年の登録をめざしていたが、諮問機関イコモスからの「不記載勧告」を受け、H25の世界遺産委員会への推薦を断念し（取り下げ）、再挑戦することを決定（登録目標年は未設定）。